



小泉小学校通信No.6

令和7年8月25日
郡山市立小泉小学校
校長 左雨 貴子

『2学期スタートにあたって』 ～2学期のキーワード『心の成長』～

37日間の夏季休業が終了しました。
この間、大きな事故や事件、トラブル等も報告がなく、無事に終了できたことをうれしく思います。これもひとえに保護者の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。昨日まで静かだった小泉小学校でしたが、45名の小泉っ子が元気に登校しました。ちょっぴり大人になった顔に成長を感じました。子どもたちの笑顔を見て、元気をもらい、「よーしががんばるぞ。」という気持ちになりました。



始業式に子どもたちにこんなことをお話ししました。
いよいよ今日から82日間の第2学期が始まります。学校行事や体験学習も多い学期です。2学期の主な学校行事は、全校遠足、校外学習、交通安全教室、小泉フェスタです。学校行事は、何のために行うのかというと、お友達とよい人間関係を作り、自分が小泉小学校の一員として自覚し、社会のルールを学ぶことで、よりよい学校生活を送るようにすることを目的としています。

そして何より、心の成長のための栄養になります。

「心の成長は学習や運動にもつながります」

みなさん、心ってどこにあるか知っていますか？

目には見えませんが、気持ちや考え方、やる気などをつかさどる、とても大事なものです。

この心が成長すると、勉強や運動にも大きな力を発揮します。

たとえば――

あきらめない心が育つと、むずかしい問題にも最後まで取り組みます。

やさしい心が育つと、友達と協力して、もっと楽しく練習できます。

がまんする心が育つと、長い時間の練習や勉強もがんばれます。

心は、体と同じで、使えば使うほど強くなります。

友達とのやりとり、授業での発表、運動会やクラブ活動――そうした毎日の中で、心はどんどん育ちます。

そして、心が成長すればするほど、学習でも運動でも、自分の力をもっと発揮できるようになります。

だからこそ、この2学期も「心を育てること」を大事にしてみましょう。

まずは、**自分の心を成長させること。**

あきらめずにがんばること、苦手なことにもチャレンジすることは、自分の心を強くしてくれます。

次に、**友達の心を大切にすること。**

相手の気持ちを考えて、やさしい言葉をかけたり、困っているときに助けてあげたりすることは、とてもすてきなことです。

ときには、**がまんしなければならない**ときもあります。自分のやりたいことより、みんなが気持ちよくすごせるように考えることも、「心」を育てる大切な力です。

この2学期、みなさんが自分の心を成長させ、お友達の心を大切にできるすてきな学期になることを、楽しみにしています。

今学期も、学校教育活動への保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

文責 校長 左雨 貴子

PTA 奉仕作業ご協力ありがとうございました

8月23日（土）に、第2回 PTA 奉仕作業を行いました。お暑い中、早朝より多くのご参加をいただきありがとうございました。

今年の夏は、連日の猛暑で、校庭の雑草が例年より抜けにくく、PTA 皆様の協力のもと除草作業をしていただき、ありがとうございます。子どもたちが、整備された校庭で、運動や遊びをのびのびとできます。環境を整えていただきましたことに、感謝申し上げます。

<作業前>

<作業後>



<作業の様子>



夏休み中のできごと

8月1日（木）に、「寺子屋小泉 in 夏休み」を実施しました。3名の講師（日本大学工学部学生）が来校し、14名の児童が参加をし、学習を行いました。夏休みの課題で分からない問題を教えてもらうなど、有意義な学習時間となりました。



体育館の床の修理完成しました

体育館の床の一部に不安定な面があり、カラーコーンで制限をしておりました。8月に修理工事をし、完成しましたので、お知らせいたします。



「風土記の丘の美術展」小泉小の作品が展示されました

7月26日（土）～8月1日（金）に、郡山市立美術館に小泉小児童の作品が展示されました。

「リボンちゃん」 2年

「ジャングルのなかの恐竜」 1年



「なぞの工場」
3年

「クラゲのダンス」
4年

「花の音波」
5年

「青空の草原」
6年

